

# Now & Future

## ごみ焼却施設

いちばん身近な「環境」への思いやりを未来へ

### 長泉町

**長泉町役場**  
〒411-8668  
静岡県駿東郡長泉町中土狩828  
Tel. 0559-86-2131  
Fax. 0559-86-5905

**長泉町塵芥焼却場**  
〒411-0931  
静岡県駿東郡長泉町東野字八分平143-11  
Tel. 0559-86-8393  
Fax. 0559-88-8432

# クリーンな環境を 未来に残す

長泉町は、「愛鷹の自然のもと連帯と創意で築く活力あるまちづくり」を目指し、行政に課せられた重要な責務として清潔で健康的な生活環境の整備拡充を図っています。

近年、経済の進展や生活の質の向上、生活様式の多様化により、廃棄物の処理は複雑かつ増加の一途をたどっており、限られた資源を有効に再利用し、大気汚染等の公害対策に努めることが重要な課題であります。

このような状況の中で、昭和49年から稼働してきた旧焼却施設は老朽化が著しく、またダイオキシン類の排出濃度を基準以下に抑える等、公害の発生防止と効率的な処理が求められるなど、新たな対応の必要が生じ、改修工事を進めてまいりました。

このたび完成した焼却施設は、最新の技術を導入し、特に排ガス対策としては、集塵装置にバグフィルタ、さらに白煙防止装置も併せて設置しました。また、汚水対策としては、ごみ汚水を外部に放流せず、施設内で再利用する“クローズドシステム”を採用するなど、あらゆる公害対策についても万全な体制をとると共に、周辺地域の生活環境の保全対策を考慮した最新鋭の施設です。

今後は、この施設の適切な運営管理に努め、より良い清掃事業の推進と住みよい環境づくりのため、更に努力してまいりますので、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、建設に当たり、格別のご理解とご協力を賜りました地元の皆様をはじめ、関係各位に対し深く感謝の意を表し、ごあいさついたします。

## 長泉町であいさつ



長泉町長  
池田 修



## 施設の全体概要

名称	長泉町塵芥焼却場	
所在地	静岡県駿東郡長泉町東野字八分平	
敷地面積	13,681m <sup>2</sup>	
建築面積	1,957.8m <sup>2</sup>	
延床面積	2,376.43m <sup>2</sup> <small>(工場棟1,659.95m<sup>2</sup> 管理棟520.22m<sup>2</sup> 車庫棟196.26m<sup>2</sup>)</small>	
建築構造	鉄骨造 一部RC造	
施設規模	機械化パッチ燃焼式焼却炉 25t/8h×2炉(2系列) 計50t/8h	
工期	着工	平成10年6月2日
	竣工	平成12年3月22日
総事業費	総事業費	1,541,925千円
	工事費	1,515,150千円
	施工監理費	26,775千円
	財源内訳	
	国庫補助金	261,975千円
	起債(半償立金繰上返済)	977,000千円
	一般財源	162,950千円
	衛生施設建設基金	140,000千円
設計施工	日本車輛製造株式会社	

## 設備の概要

### 1. 受入供給設備

●ごみ計量機	マルチロードセル式	1基
●搬出入扉	自動空圧駆動	1式
●エアカーテン		1式
●ごみ投入扉	空圧駆動中折観音扉	1式
●ごみピット	容量約500m <sup>3</sup>	1式
●ごみクレーン	クラブバケット付天井走行クレーン	1式
●薬剤散布装置		1式
●脱臭装置	活性炭吸着方式	1基

### 2. 燃焼設備

●ホッパ	容量15.6m <sup>3</sup> 油圧駆動ゲート付	2基
●給じん装置	油圧プッシャー式	2基
●燃焼装置	油圧駆動階段式ストーカ	2基
●焼却炉本体	燃焼室容積 61.09m <sup>3</sup> 再燃焼室容積 69.52m <sup>3</sup>	2基
●助・再燃バーナー	ガンタイプ灯油バーナー	各2基
●燃料貯留層	地上式10kL	1基

### 3. 燃料ガス冷却設備

●ガス冷却室	水噴射式	2基
●ガス急冷塔	水噴射式	2基

### 4. 排ガス処理設備

●窒素酸化物除去装置	尿素水噴射方式	1式
●有害ガス除去装置	乾式消石灰噴霧装置	1式
●集じん器	バグフィルタ方式	2基

### 5. 余熱利用設備

●温水発生設備		1式
---------	--	----

### 6. 通風設備

●一次空気押込送風機	ターボファン	2基
●二次空気押込送風機	ターボファン	2基
●空気予熱器	ベアチューブ式	2基
●白煙防止用送風機	ターボファン	2基
●白煙防止用空気余熱器	ベアチューブ式	2基
●誘引送風機	ターボファン	2基

### 7. 灰出設備

●焼却灰搬出装置	スクリュー・チェーンコンベア	1式
●ダスト搬出装置	チェーンコンベア	1式
●ダスト処理装置	薬品処理方式	1式
●灰・ダストピット		各1基
●灰クレーン	クラブバケット付天井走行クレーン	1基

### 8. 排水処理設備

●ごみピット排水処理設備	炉内噴霧熱分解方式	1式
●場内排水処理設備	凝集沈澱+3過法式	1式

### 9. 計装設備

●ごみ計量機自動計量		1式
●ごみクレーン半自動運転		1式
●自動焼却制御		1式
●プラント各部自動制御		1式
●データ処理システム		1式

# 地球環境に 優しい設備を

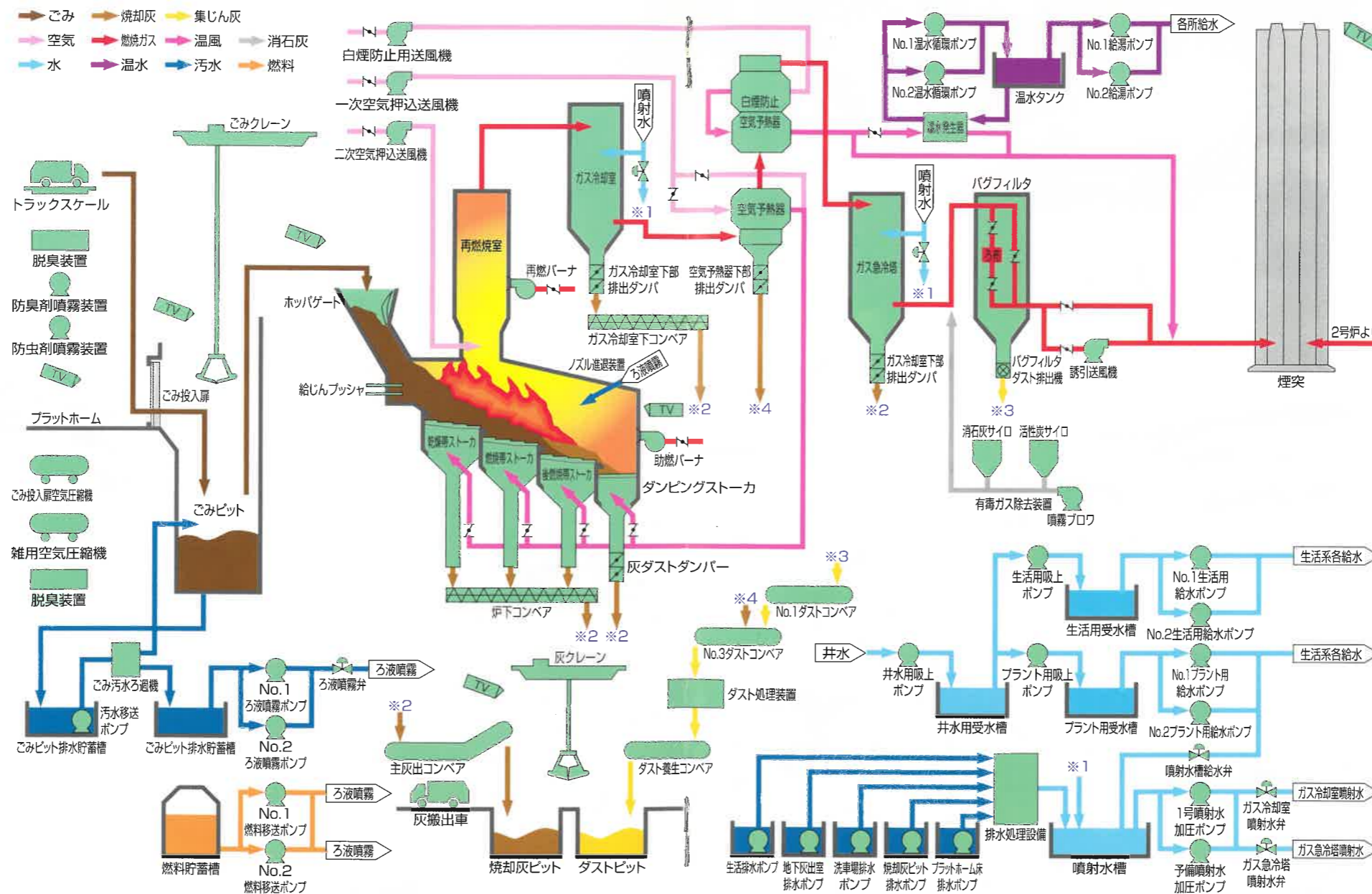
## 燃烧施設のしくみ



**ダイオキシン**等有害物質の除去のためバグフィルタの設置とともに有害ガス監視装置等により、酸素濃度・一酸化炭素濃度・塩化水素濃度・窒素酸化物濃度をリアルタイムで監視し、消石灰の自動注入による塩化水素濃度、尿素水の自動注入による窒素酸化物の排出抑制、また活性炭の吹込みによりダイオキシンの捕集を行う等、排ガスの浄化には万全を期しております。



**生ごみ**から発生する汚水は、焼却炉内に噴霧して完全熱分解処理し、その他施設内の排水は全て排水処理施設で処理した後、燃烧ガス冷却用水として再利用し、施設外に汚水や処理水を全く放流しない「再循環クロウズシステム」を導入しています。



**バグフィルタ**で捕集されたばい塵は薬剤処理することにより、有害な重金属等を封じ込め、雨水などで溶出しないうようにして最終処分場へ搬入します。

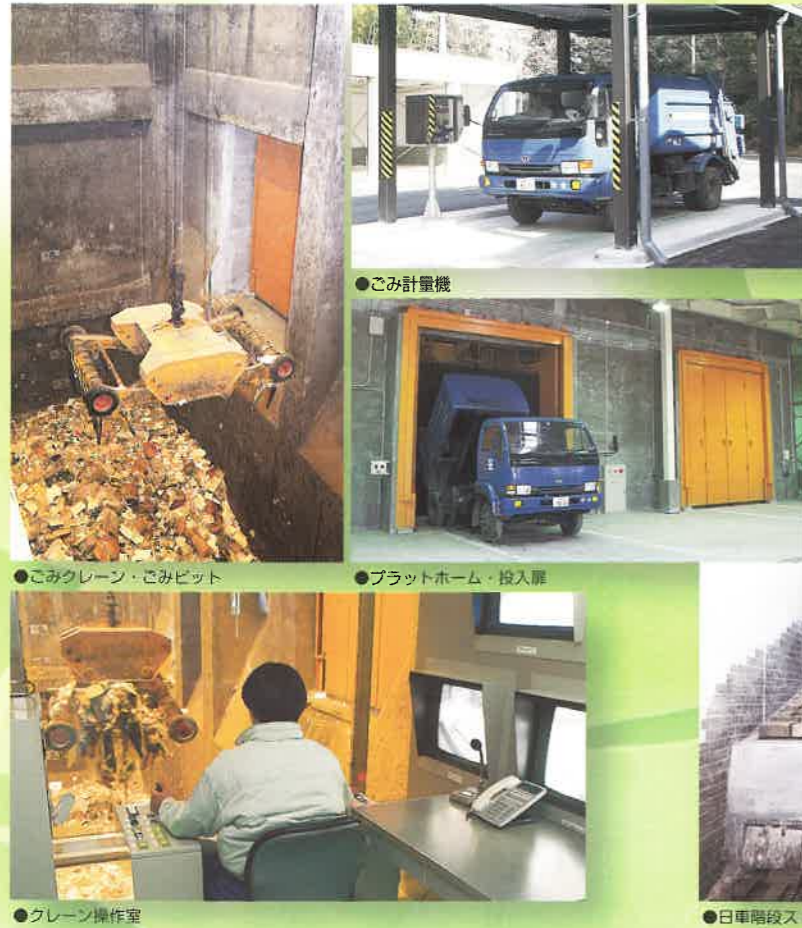


**騒音振動**に対しては騒音源となる機器は防音材を施工した部屋に設置し遮音すると共に、他の機器も必要に応じ防音・防振機器を設置しています。

# 自然と共存する設備

## 収集されたごみは

計量機で計量された後、ごみ投入扉からごみピットに投入され、ごみクレーンによってごみホッパへ入れられます。



●ごみ計量機

●プラットフォーム・投入扉

●ごみクレーン・ごみピット

●プラットフォーム・投入扉

●クレーン操作室

●日車階段ストーカ

●ピット汚水噴霧装置

## 焼却炉の中は

焼却炉内に送り込まれたごみは、日車階段式ストーカにより安定した燃焼ガスが得られます。またごみピット内の臭気は燃焼用空気として炉内へ、ごみピットに発生した汚水は炉内に噴霧され共に高温酸化処理されます。



●焼却炉本体

## 場内で発生した排水は

排水処理設備に集水された後、ガス冷却水として再利用されます。



●排水処理施設

## 余熱利用は

白煙防止空気余熱器より発生した温風を利用して温水とした後、各所給水で使用されます。



●温水発生器

## 焼却灰と集じん灰は

焼却灰は水冷され灰ピットへ、有害物質を多量に含む集じん灰は薬剤処理され集じん灰ピットへ、その後最終処分場へ搬出されます。



●集じん灰処理装置 ●灰ピット・集じんピット・灰クレーン

## 高温ガスの温度コントロールは

焼却炉から出た約950℃のガスはガス冷却室で500℃まで下温され、更にガス冷却塔で160℃にコントロールされ、煙突入口温度は白煙防止装置で180℃に昇温され排出します。



●ガス冷却室



●ガス急冷塔

## 排ガス中の有害物質は

有害ガス除去装置・窒素酸化物除去装置・バグフィルタによって各基準値以下にコントロールされています。



●窒素酸化物除去装置 ●有毒ガス除去装置 ●バグフィルタ

## プラントの運転は

プラント内の全ての機器装置は中央制御室で集中管理されます。



●中央制御室